

2012年10月

“グルコサミン”、軟骨をサポートする“コラーゲン”、うるおい素材の“ヒアルロン酸”配合！  
スムーズな生活をおいしく、サポートする宅配専用商品

## 「うるおうグルコサミン」

11月6日(火)より新発売！

森永乳業は、“グルコサミン”、“コラーゲン”、“ヒアルロン酸”を配合した宅配専用商品「うるおうグルコサミン」を11月6日(火)より、全国にて新発売いたします。

近年、宅配市場は、健康志向の高まり、進展する高齢化、買い物困難者の増加などの変遷とともに注目が高まりつつあり、機能性を付加した商品が増えています。

森永乳業の宅配では、継続して摂取いただきたいビフィズス菌 BB536 やミルクカルシウムなどを配合した付加価値の高いミルクやヨーグルトに加え、長期保存可能な豆腐、牛乳パック入りのチルド米など、100種類以上の商品を販売しており、主に50代～80代の方を中心に喜ばれています。

### <背景>

日本では、2009年に65歳以上の人口割合が22.7%となり、国の統計によると、調査対象世帯の男性の約4%、女性の約7%が「手足の関節が痛む」と回答しています。（\*1）中でも50代以降の女性に多く見られるのが変形性ひざ関節症であり（\*2）、これは加齢や筋力の衰えでひざ関節の軟骨がすり減り、関節内に炎症が起きる病気です。このような背景を元に、注目されているのが“グルコサミン”、“コラーゲン”、“ヒアルロン酸”といった軟骨を潤し、関節の動きをスムーズにすると言われる栄養成分です。これらの成分は、加齢によって減少します。

\* 1 厚生労働省 平成22年国民生活基礎調査「自覚症状の状況」より

\* 2 厚生労働省 「今後の調査研究の在り方について」平成19年8月 介護予防の推進に向けた運動器疾患対策に関する検討会



## 1. 商品特長

- ① 軟骨を作る成分の 1 つである“グルコサミンを 1,500mg”配合。軟骨の生成を促進させるグルコサミンはスムーズな関節軟骨には欠かせない成分と言われています。
- ② たんぱく質の 1 つで骨や皮膚などの体を作る役割や、細胞と細胞を繋ぎ止める役割を果たし、軟骨をサポートする“コラーゲンを 1,000mg”配合。(株)博報堂調べ(\*3)では、50～60 代女性が摂取したい健康成分 No.1。
- ③ 水分保持力が高く、細胞での水分保持機能を持つと言われる“ヒアルロン酸を 5mg”配合。(株)博報堂調べ(\*3)では、50～60 代女性が興味／関心のある健康成分で上位。
- ④ 1 本 115ml なので、高齢者の方にも、飲み続けていただくのにぴったりなサイズです。
- ⑤ 1 本あたり 49kcal なので、カロリーを気にしがちな女性にも、飲み続けていただきやすいカロリーに抑えております。
- ⑥ ミルクが苦手な方でも飲めるよう、甘酸っぱい味わいの清涼飲料に仕上げております。

\*3 (株)博報堂 HABIT2010 n=5000

## 2. 商品概要

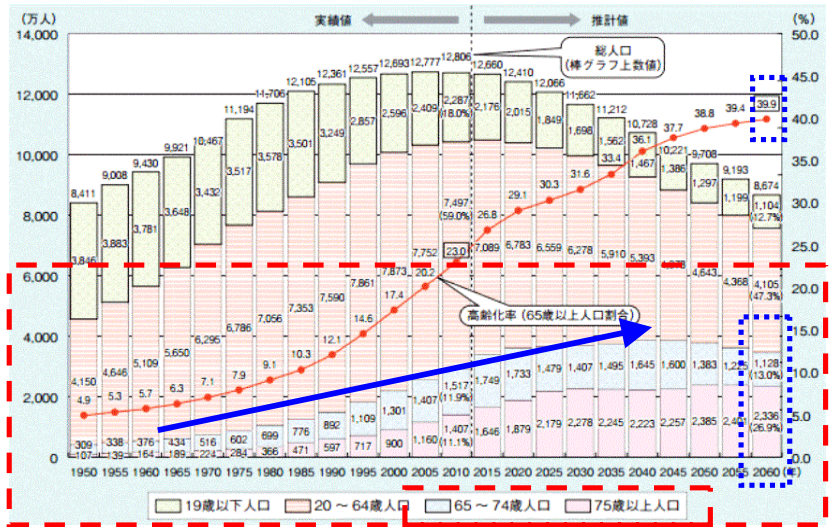
① 商品名	うるおうグルコサミン
② 種類別	清涼飲料水
③ 内容量	115ml
④ 主要ターゲット	50 代以上の男女
⑤ 主要売場	宅配専用
⑥ 発売日・地区	11 月 6 日(火)・全国(沖縄を除く)
⑦ 保存方法	要冷蔵 10℃以下
⑧ 包装形態	小型壺、樹脂キャップ、シュリンクフィルム
⑨ カロリー	49kcal
⑩ 希望小売価格	オープン価格(森永牛乳販売店が月極でお届けいたします)

以上

■参考資料 <背景>の補足

1. 人口動態

- ・2010年に、65歳以上の人口割合が23.0%となり、超高齢社会に突入。
- ・2060年に高齢者比率は4割に到達すると予測されている。



出典：平成24年版高齢社会白書

2. 変形性ひざ関節症患者数 (\*2)

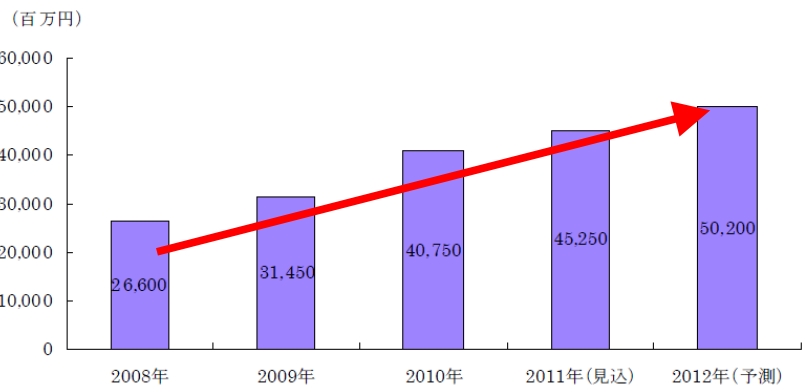
- ・自覚症状を有する患者 約 1,000 万人
- ・潜在的患者(X線診断による) 約 3,000 万人

50代以降の男女比では、女性の方が男性よりも1.5~2倍多いことが分かっている。

出典：厚生労働省「今後の調査研究の在り方について」平成19年8月 介護予防の推進に向けた運動器疾患対策に関する検討会

3. グルコサミン配合の健康美容食品市場規模推移

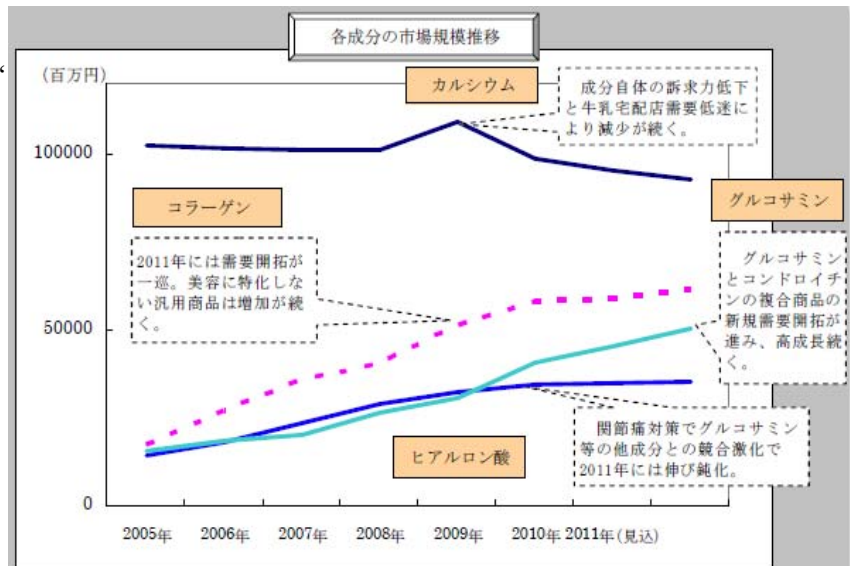
体感効果の高さから、中高年層を中心に、数年に渡り、二桁伸長。2012年には市場規模が500億円台に拡大する見込み。



出典：(株)富士経済HBフーズマーケティング便覧2012

4. 関節痛関連成分の市場規模推移

関節痛関連成分の“グルコサミン”“コラーゲン”、“ヒアルロン酸”が伸長しており、今後も伸長が続くと考えられる。



出典：(株)富士経済HBフーズマーケティング便覧2012